成績概要書(2008年１月作成)

研究課題　：ぶどうの品種特性
　　（ぶどう新品種育成試験）
　　（「種なしぶどう」の品種選定と高品質果実生産技術の確立）
担当分署　：中央農試作物研究部果樹科
協力分担　：
予算区分　：道費
研究期間　：2000～2007年度（平成12～19年度）

１．目的　現在、道内で栽培されるぶどうのうち、醸造用では高品質で耐寒性の強い品種、生食用では需要の低下が著しい「キャンベルアーリー」に代わる良食味品種が求められている。そこで道外で育成されたぶどう品種・系統について、栽培特性・果実品質・耐寒性などの特性を明らかにし、北海道に適応する品種を選定する。

２．方法

１）醸造用ぶどうの品種特性　供試系統　「山梨38号」、「山梨44号」、標準品種「セイベル13053」、比較品種「ツバイゲルトレーベ」。2000年定植　定植時樹齢1年生

調査項目；生育相、樹体生育、発芽率、樹勢、収穫期、収量、果実品質、酒質

２）生食用ぶどうの品種特性　供試品種　「甲斐美嶺（かいみれい)」、「サニールージュ」（ジベレリン(以下GA)処理無核品種)、標準品種「キャンベルアーリー」(有核品種)、比較品種「デラウエア」、「バッファロー」(GA処理無核品種)、2001年定植　定植時樹齢2年生

試験場所；長沼町(無加温ハウス)、仁木町(露地)

調査項目；生育相、樹体生育、発芽率、樹勢、収穫期、収量、果実品質

３．成果の概要

１）醸造用ぶどうの品種特性（表１、４）

「山梨38号」；10月中下旬に収穫できる赤ワイン用の醸造専用系統である。果汁糖度は18～19％、酸度は1.2g/100ml程度で、やや高い。酒質は、標準品種並の酸味で、ワイン色はやや薄い。官能評価では、‘バランスがよい’などの評価がされた。耐寒性は‘やや強’であり、果実品質・酒質が良好であることから有望な系統である。

「山梨44号」；10月中下旬に収穫できる赤ワイン用の醸造専用系統である。果汁糖度は約19％、酸度は1.2g/100ml程度で、やや高い。酒質は、標準品種と比べ酸味がやや強く、ワイン色は濃い。官能評価では、‘しっかりした味わい’などの評価がされた。耐寒性は‘強’、収量が多く、果実品質・酒質が良好であることから有望な系統である。

２）生食用ぶどうの品種特性（表２、３、４）

「サニールージュ」；果皮は赤紫色、満開期と満開10日後のGA処理(各25ppm)で無核化する種なし品種。樹勢はやや強い。収穫期は「デラウェア」よりやや遅く、仁木町露地栽培で9月20日前後。露地栽培も可能だが、裂果が多い年もあることからハウス栽培が有効である。糖度は17～18％程度で「キャンベルアーリー」より明らか高い。酸度は0.6g/100ml程度。果粒重は５～６g程度で「キャンベルアーリー」よりやや大きい。適度な香りがあり食味はかなり良く品質が優れることから、種なしぶどうとして有望な品種である。

「甲斐美嶺」；果皮が黄緑色、満開期と満開10日後のGA処理(各25ppm)で無核化する種なし品種。樹勢は強い。収穫期は「キャンベルアーリー」と同時期、仁木町露地栽培で9月末～10月始め頃。開花直前～開花始期に花穂先端を10cm程度残すように整房すると良形の房になる。糖度は18％程度、酸度は0.7～0.8g/100ml程度。果粒重は４g。種なしで食味は良く品質が優れるが耐寒性がやや弱い。

表１　醸造用ぶどう系統の特性

品種・系統	樹体							収穫・果実特性						酒質		
	供試樹数	枯死樹数	発芽期	発芽率(%)	満開期	樹勢	耐寒性	収穫盛期	収量(kg/樹)	果房重(g)	果皮色	糖度(Brix%)	酸度(g/100ml)	総酸(g/100ml)	OD 530nm	酒色濃淡
山梨38号	5	0	5/24	62	7/11	ヤヤ強	ヤヤ強	10/17	1.9	203	紫黒	18.5	1.20	0.61	1.93	ヤヤ薄
山梨44号	5	1	5/20	77	7/10	ヤヤ強	強	10/14	3.5	171	紫黒	18.9	1.22	0.80	4.66	濃
セイベル13053（標準品種）	5	1	5/18	77	7/4	中	強	10/15	3.6	112	紫黒	19.6	0.91	0.50	1.84	ヤヤ薄
ツバイゲルトレーベ（比較品種）	5	3	5/20	69	7/10	中	中	10/14	2.0	210	紫黒	19.0	0.96	0.62	2.62	中

生育相は2002～2007年、発芽率は2003～2007年、収量は2004～2007年の平均、果実品質は2003～2007年の平均。
酒質の値は、2004～2006年の平均。ただし、「山梨38号」については2004～2005年の平均。
ワインは中央農試産果実を用い、山梨県果樹試験場にて醸造した。

表２　生食用ぶどう品種の生育相・収量・樹体生育・果実品質

場所	品種名	供試樹数	枯死樹数	発芽率（%）	発芽期（月日）	満開期（月日）	ジベレリン処理 1回目	ジベレリン処理 2回目	収穫期（月日）	収量/樹（kg）	果房重（g）	果粒重（g）	糖度（Brix%）	酸度（g/100ml）
長沼ハウス	サニールージュ	2	0	65	5/15	6/24	6/24	7/5	9/5	69.5	366	5.6	17.3	0.56
	甲斐美嶺	4	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	キャンベルアーリー(標準)	2	0	67	5/15	6/22	－	－	9/20	98.3	421	5.0	15.8	0.71
	デラウェア(比較)	2	0	50	5/16	6/21	6/12	7/2	8/27	29.1	165	2.2	20.8	0.71
	バッファロー(比較)	2	0	75	5/15	6/22	6/10	7/3	8/27	43.3	436	4.9	19.1	0.68
仁木露地	サニールージュ	2	0	60	5/14	7/4	7/4	7/17	9/19	53.7	330	5.7	17.5	0.77
	甲斐美嶺	4	2	80	5/15	7/4	7/4	7/17	9/28	39.7	303	3.9	18.3	0.76
	キャンベルアーリー(標準)	2	1	82	5/14	6/30	－	－	9/29	46.7	335	5.3	15.5	0.76
	デラウェア(比較)	2	0	59	5/14	6/29	6/19	7/15	9/9	60.7	141	1.8	21.0	0.86

発芽率は2006，2007年平均、収量は2002年～2007年累積、その他は2002年～2007年平均
枯死原因：「甲斐美嶺」長沼は2003年凍害による。仁木は2004年台風で葉に被害を受けたため。「キャンベルアーリー」は折損。

表３　生食用ぶどう品種の果実形質・抵抗性等

品種・系統名	花振い	着粒	果粒形	果皮色	はく皮	果肉特性	果肉硬度	香気	食味	脱粒性	裂果	耐寒性	べと病
サニールージュ	少	密	短楕円	赤紫	中	中間	中	弱フォクシー	かなり良	中	ヤヤ多	ヤヤ強	多
甲斐美嶺	中	中	円	黄緑	中	中間	中	弱フォクシー	良	中	中	ヤヤ弱	多
キャンベルアーリー	少	密	円	紫黒	易	塊状	硬	フォクシー	中	中	少	強	少
デラウェア	少	密	円	赤褐	易	塊状	中	その他	ヤヤ良	中	少	ヤヤ強	少
バッファロー	少	ヤヤ密	短楕円	紫黒	易	中間	中	その他	良	易	中	中	少

表４　各品種・系統の総合評価

品種・系統名	優点	欠点	概評	総合評価
山梨38号	耐寒性やや強。良好なバランスの酒質。	ワイン色がやや薄い。	耐寒性がやや強く、赤ワイン用として有望。	○
山梨44号	耐寒性強。ワイン色が濃厚。収量が多い。	酸がやや高い。	耐寒性が強く、豊産性。赤ワイン用として有望。	○
サニールージュ	食味かなり良い。果粒大きい。GA処理期が判断しやすい。	裂果がやや多い。べと病多。	種なしで品質優良。ハウス栽培向き。	○
甲斐美嶺	食味良い。GA処理期が判断しやすい。	耐寒性やや弱い。べと病多。	品質良いが、凍害に注意。	△

総合評価　○：有望　△：有用な形質を持つが、問題となる欠点を持つ　×：本道での栽培には向かない

４．成果の活用面と留意点

・ぶどう産地における品種導入において活用する。
・「山梨38号」「山梨44号」は全道の醸造用ぶどう栽培地域で栽培可能である。「サニールージュ」はハウス栽培を基本とし、全道の生食用ぶどう栽培地域で栽培可能である。
・冬期は枝おろしを行う。着果過多などで耐寒性が低下しないよう注意する。また、生食用２品種はべと病の防除を行う必要がある。
・醸造用系統の「山梨38号」は「ビジュノワール」として出願公表中であり、「山梨44号」は品種登録準備中であるため、苗木の販売までには数年を要する。

５．残された問題とその対応

醸造用系統について北海道内メーカーによる酒質評価を引き続き行う。